困窮する事業者救援

たことが背景にある。

ども食堂に

「愛顔(えがお)の子ど南海放送が展開する

コロナ禍で

た食育を実施し

愛媛県

に付けるといっ

選択する力を身

ことを知り、相談を受けら生産者らが困っている

会社のイミ

コトマルシ

#元気いただきますプロジェクトNEWS

ニッポンを元気にする取組みが全国で広がっています

ム・シェフプ

つなげよう支援の輪」 超のバイヤ team-chef.jp/)。サイト

インターネット販売推進事業

ほか、日本料理アカデミ店。村田代表は食学会の

シュラン三ツ星の常連 向上、文化発展を果たす。 る。生産者の苦境を憂い 飲食店支援なども推進す 務め、弁当による医療、 日本・食学会の理事長を 労者の村田吉弘代表は全 心の客足が回復。文化功 利経営に徹して、 配も始め、一般向けの公 食品業界の継続と自給率 菊乃井は大正元年の1 2年に創業した、 ミ 地元中

ト図り業界持続も

る。予約も 仕事は別と村

通の人にハー からでき、普 田氏は指摘す カ月前ぐらい の日な

太穴子寿司、 、村田代表の子息が工夫、劣化しない酢飯は博士

インターネット販売推進事業

農林水産物の販路の多角化推進事業

食べたいとい 料理を出す、 ど全店でのれ んを下げ続け 。数人でも

東京・赤坂な 割烹の露庵、 もうかるのと

世界の料理にし、 を約1 業界を継承し、

げている。

部の本房万理氏)ことで、 るようになった」(商品 花を提供することができ

外出自粛制限

に減少した。

引量も大幅

ノラワーロス削減につな

材の輸出拡大を加速す 価値などを強みに和食を る。国家を保つ自給率維 して生産者を支援。健康 販売先と

京都の老舗料亭の菊乃 コロナ禍でも開店

の縁を守る

メがベータ(難消・老)どの棒寿司は低温でもコ

司といったテークアウト自宅で楽しめる太穴子寿 商品を開発した。市内宅 DMALL」を活用し、 の一つ「ぐるなびFOO だきますプロジェクト」 守った。国産食材を食べ て応援する「#元気いた し続けて生産者との縁を

染症を防ぐ、3月からの てきた。 外出自粛にも京都本店、 理の魅力を世界へ発信し 産の登録を主導。日本料食のユネスコ無形文化遺 新型コロナウイルス感

ば今後はない。

「#元気

ない地元客にはタクシしめる。外出、来店で

来店でき

の市内配達も行い、

弁当

ロジェクト」を立ち上げ

20スマイルフラワープ 題を解決するため「20 る。ブラワーロス。

数のブランドを持つ。今GALLERY」など複

割引きで提供している。 ラを中心に通常の3~

ていただき、地域貢献し

専門店「銀座ROSE

で仕入れ、

人気のガーベ

らの注文も増えた。

一般個人のほか、

c o n o k a

バラ

いる生産者との縁を切

普段助けられて

理、空間芸術の周日でなり料亭では上品で美しい料料亭では上品で美しい料

売り先を失って廃棄され イルス拡大の影響で花が

の問

はもちろん、最新の調理

FC) は、新型コロナウー・コーポレーション(J

器具を追求して、

安全を優先。素材の厳選

しで成り立ち、 商売は三方良 保した。

の商売とし、

らえるのが本当

発。地方にも発送する。

しない酢飯を新たに開

店は日本にない米国、

産者の販路も確

規定をクリアして衛生、 EU (欧州連合) の厨房

ているジャパン・フラワ「花まつ」などを展開し富山県を拠点に生花店

るなび FOOD MAL 質半額で購入できる「ぐ いただきますプロジェク L」から多くを調達する。 ト」に賛同し、最大で実 太穴子な

いる。 全国の医療従事者へ弁当 コロナ感染症を治療する 取り、寄付金などで賄う。 食店に依頼して会で買い 食学会では4月から、 外食自粛に苦し 00食提

西では「PHOENIX」する「花まつ」ほか、関で店舗展開。北陸に展開 福井、石川、 同社は富山を中心に、

需給バランスの下支え

貢献している。 6月から

の需給バランス下支えに するとともに、花き市場 花の生産者の経営を支援

参加した「#元気いただ

契機に「より幅広い層にきますプロジェクト」を

価格が低迷、 要は落ち込み に応じて集客につなげて

も、コロナ共存のニーズ 益は少ないとしながら の「家楽膳」も好評。

ジャパン・フラワー・コーポレーション

婚式や葬儀などの催事が

ドライブスルーで受け取

ットで注文を受け付けて 4~5月は、インターネ

る方式を展開。9月から

ントやコンサー はコロナ禍により、

卜、結

込まれ、業務用花きの需

は「フラワーライフ振興

後も、卸・仲が解除された 後も、 ままだ。 スマイルフラ 卸業者の買 まだ低迷した 花の消費はい 控えにより、 2 0 2 0



人気のガーベラ

を続けていきたいとして で明るさを取り戻すべ 題が多いが、新しい生活 を込めて送る医療従事者 く、さまざまなサポ 様式の中に花を飾ること 者へのねぎらいの気持ち 行う。さらに、医療従事 ロナ禍でなにかと暗い話 心援花も人気が高い。

削減を

協議会」を立ち上げ、



「#元気いただきま すプロジェクト」 を担当する商品部

の市場価格より高い値段 の本房万理氏 産者、卸 は、全国 どと連携 売市場な 平年

プロジェクト」参加後は る。 国各地でフラワー 「#元気いただきます

スの削減に貢献してい などを行い、フラワー な生活様式「フラワー イフ」を創出すべく、 レッスン会、花配り

ロナ禍で花を通じた新た ・ロス問題に共感し 法人か

あなたのひとくちが、 ニッポンを元気にする。

#元気いただきますプロジェクトは、 新型コロナウイルス感染症の影響で 行き先を失っている 「国産食材」を 食べて応援しよう!というプロジェクトです。

存の通販・EC(電子商 る」を運営している。既 支援するサイト「たべま 活用した商品訴求ができ の専門家とのつながりを ー、メディア掲系旨かをプランナー、キュレータ する。強みは1000-手段で商品セットを案内 点を置き、具体的な救済 が利用者に届くことに重 画しており、困っている取引)サイトとは一線を 害で困っている事業者を 年5月から共同で、新型 コロナウイルスや自然災 人とそのSOSの生の声 サイト名は「たべまる メディア関係者や食 ーやシェフ、 販売サイト「たべまる」運営 載し臨時の業者のみ掲 販サイト どのハンディがある中なく少人数で運営するな サイトに誘導する流入施 や自然災害 ェという通

営を予定している。 点で21年12月末までの運 救援販売を目的に、

掲載内容による反響や

対象商品の一つである

一三重県紀伊長島のネギ

ロジェクト」の送料支援

「#元気いただきますプ

ト」を活用し、



新型コロナウイルスや自然災害 で困っている事業者を支援する ト「たべまる」

による一連ナウイルス の新型コロ げは、今回 が多く、サ の付き合い の社会状況 イト立ち上

同運営を行った商品は大Sの広告運用プロとの共 ランディングツー で著名な知見を持つSN る働き掛けも行う。 きな成功につながってい れた実績を今後の営業ブ

食育等推進事業

いる。例として10月には、 金氏のフェイスブックア 救え」と4月から販売代 カウントを介 宅配など企業のバイヤ 売上げが伸びる食品ス 能な範囲で、自家需要で サイトは、やみくもに している。 パティシエに紹介、 -、自然食品、通販、 荒

同プロジェクトの送料無料

対象商品の1つ「三重県紀伊

長島のネギトロ」は1100kg、

を受けた事

で、コロナ

トを介した販売で、この な関係でつながってい 買後も、生・販は直接的 る危険がある。専用サイ と、コロナ後にこれまで リスクも軽減できる。 のブランディングを損ね り、極端な値引きをする 掲載件数を増やさず、 トで困窮状況を伝えた イテムを厳選。 自社サイ

会員なしで立ち上げたサ 策が奏功し、認知度ゼロ、

げにして550万円も売

トロが

売上

分な広告予算も

べまる責任者)

(荒金貴裕た

日常的に生産者やメ

などの作り手、

やシェフと 店の経営者

る。各種メディアにアプ がメディアに掲載さ チし、生産者やメ 国内 愛媛の食材を学び、 う食育活動だ。

れらを使用し 堂は、 で実施されている。生産所の子ども食堂や幼稚園 全農のブランド牛肉「伊 リ、養殖クロマグロ、JA 生産量全国2位の養殖ブ 量日本一の養殖マダイや 愛媛県内約50ヵ

県産の生鮮品を通じて、 てられているかなどの 魚や牛肉がどのように育 予牛・絹の味」など愛媛 「食」に関する知識とそ

限定で実施している地元 から21年1月までの期間 肉を食べることで生産者 出荷数や価格が落ち込ん を応援しようと「#元気 でいる愛媛県産の魚や生 いただきますプロジェク この「愛顔の子ども食 20年8月 味わ 県産品使用メニューで食育

子ども食堂で提

学ぶ機会にもな

っている。また

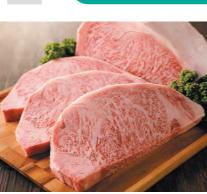
の未来を守り作 産地消が愛媛県 産品を通じた地

っていくことも

で生鮮品の提供が難しか で地元の加工食品が中心

たこともあり大きな反

研究家で食育アド



「伊予牛・絹の味」

る。

第二幼稚園で松山市の育英 ボ丼」などの マグロとマダ 開催された が提供され 食育メニュー イの夢のコラ 「愛顔の子ど

じている。また生産者やっている」と手応えを感 継続をお願い 度以降も実施を望む声が 子ども食堂からは、 かけづくりになればと思 生産者をつなぐ良いきっ している。 上がっているということ しては「事業の (浜岡謙治) 来年

テイスト焼肉丼」「クロ われおり、それぞれ料理 や「伊予牛・絹の味ダブル た「鯛とブリのカツ丼」 ロマグロによる食育が行 中村和憲氏が考案し とク みだったが、 未来を担う子どもたちと ってもらうことで愛媛の 機会となっている」とし、 の食育にもつながる良い 的にスター 媛アライアンス戦略室長 ある南海放送の桐本尚愛 「県産品の情報や味を知 「県内生産者支援を目 トさせた取組 子どもたち

響を呼んでいる。

堂」では、8、9月がマダ

この「愛顔の子ども食



の尊さといった「牛の命」も食堂」では、生産者も ロジェクトのリ 欲を述べた。また、同プ PRしていきたい」と意 生産者としてしっかりと つながっていく。今後も力にもなるし、消費にも うした活動は生産者の活 生産者の池田一成氏は 食が園児に提供された。 などが説明され「伊予牛 「厳しい状況下だが、 絹の味」を使用した給 -ダーで

井元気いただきます

SNSや広報において、「#元気いただきます」「#元気エール」 投稿で プロジェクトの広がりにご協力をお願いいたします。 公式ウェブサイト等では、みなさんの投稿をご紹介しています。

プロジェクト

農林水産省 maff.go.jp

